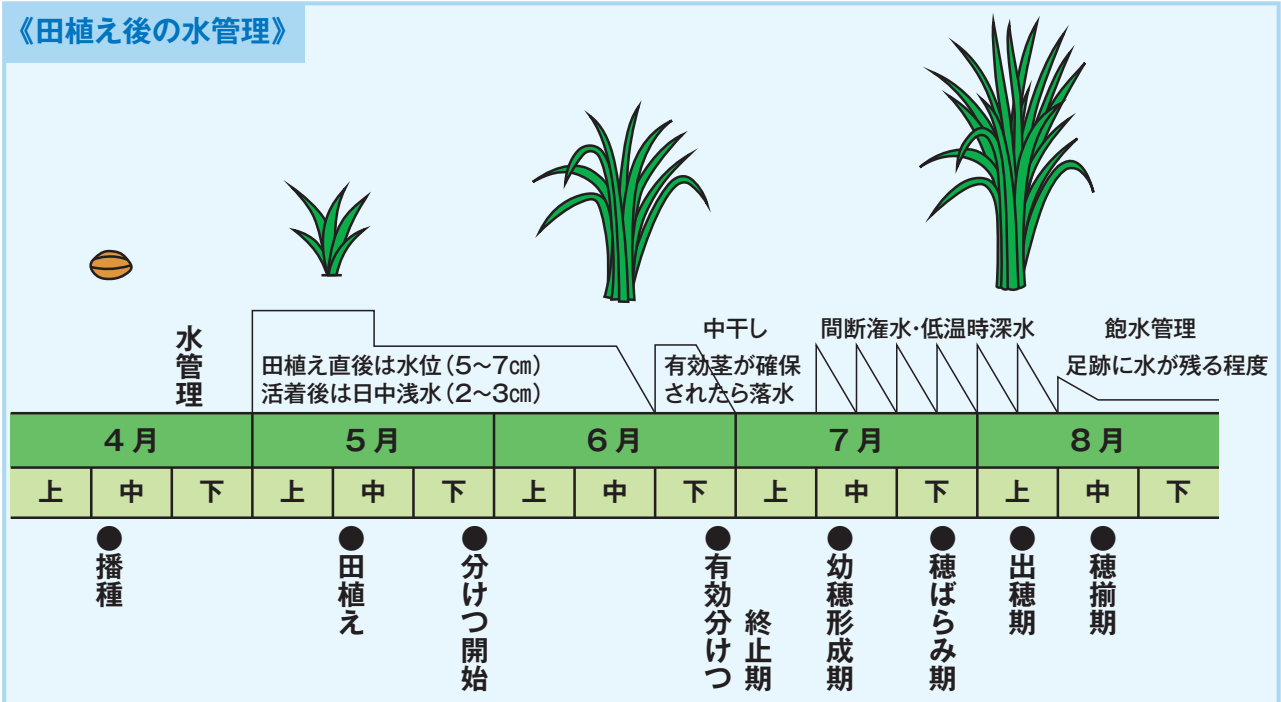




**移植後の適正な水管理で初期生育を確保するとともに、除草剤を適正に使用して除草効果を高めましょう!**

《田植え後の水管理》



○田植え後の水管理 ~分けつ促進のために~

目標茎数を早期に確保するため、適正な水管理のもと初期生育(分けつの発生)を促進させましょう。

初期生育の決め手となるのは水温の管理です。水の更新は早朝に行い、日中は水を止めて水温を上昇させましょう。

**ポイント1** 生育初期の水管理

	水深	効果
活着期 (田植え後7日まで)	5~7cm (深水)	●低温・風による植え傷みを防ぎ、根づきが良くなる ●昼夜の水温差が少なくなり保温的管理ができる
分けつ期 (田植え後7日~10日以降)	2~3cm (浅水)	●水温・地温が上昇し、分けつ、発根が促進される

**ポイント2** 雑草防除は体系処理を基本とし、雑草の種類や圃場条件などに応じて除草体系を選択しましょう。

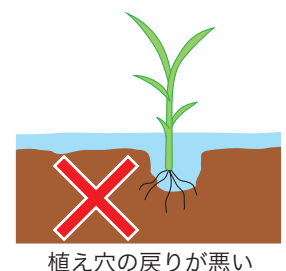
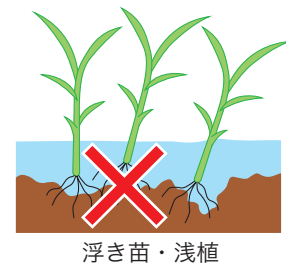
基本体系	適用条件	移植日~
一発処理	代かき~移植までの期間が <b>短い</b> 場合	初中期一発剤
<b>おすすめ</b> 体系処理	代かき~移植までの期間が <b>長い</b> 場合 砂質土壌で水持ちが悪い場合 大型圃場の場合	初期剤 初中期一発剤

○残草した場合は中・後期剤を散布しましょう。

**※体系処理の農薬は4月号をご覧ください!!**

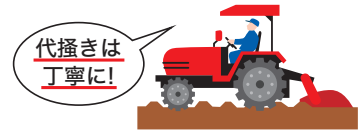
田植同時処理の注意点

- 丁寧な代かきと適度な種付け深度で薬害の原因となる「浮き苗」や「浅植え」を防ぎましょう。
- 植え穴の戻りが悪い圃場、もしくは極端な砂壤土では薬剤が根付近まで浸透し、薬害が出る恐れがあるので、**田植同時処理を行わないでください。**
- また、「移植時」の登録がない剤は使えませんのでご注意ください。



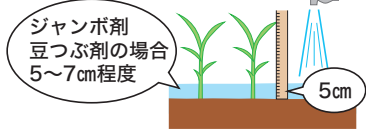
### ポイント3 水田雑草防除

①丁寧な代かきで田面を平らに。凸凹のある状態では浅植えによる薬害、処理層が出来ないことによる効果不足のもと。



代掻きは丁寧!

②散布前に5cm程度入水し、水口、水尻はしっかり閉鎖しておく。  
※特にジャンボ剤・豆つぶ剤を使うときは、薬が田んぼの中に充分広がるよう水を多めに。(5~7cm程度)



ジャンボ剤  
豆つぶ剤の場合  
5~7cm程度

③散布後7日間は水口、水尻を閉鎖したまま止水管理(2日以上田面が露出したら緩やかに入水)。

除草剤散布後、薬剤がしっかり土壌に吸着されるまで田面の水を動かさないことが大事!



溶けて広がるのに1日程度 そから数日かけて土壌に浸透

- 除草剤の種類、剤型によって施用時期等が異なりますので、施用前に使用方法をご確認ください。
- 施用にあたっては、使用期限内で早めに施用しましょう。

### ○除草剤散布の注意点

#### 共通注意事項(粒剤、フロアブル剤、ジャンボ剤)

- ①田面が均一になるよう代かき、整地は丁寧に行う
- ②散布前は水尻しっかりと閉じ、散布後少なくとも3、4日間は水深5~7cmの湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しを行わない(水持ちが悪い田の場合、田面が乾く前にゆっくりと入水を行う)
- ③強風時は撒きムラ、除草効果ムラが生じやすいので行わない
- ④畦畔からの漏水を防ぐためモグラ、ネズミ穴はふさいでおく

#### フロアブル剤、ジャンボ剤の注意事項

近年使用が多くなっているフロアブル剤、ジャンボ剤ですが、粒剤と異なり注意すべき点があります。内容をしっかりと理解したうえでの使用をお願いします。

- 水持ちの悪い圃場** フロアブル剤、ジャンボ剤は拡散して処理層をつくります。薬剤が広がるためにはある程度の時間が必要であるため、水持ちの悪い圃場では効果が劣る可能性があります。
- アオミドロなどの雑草** 表層剥離、アオミドロ、浮草が多発生している圃場では、拡散しにくくなり除草効果が十分得られない可能性があります。事前にそれらの雑草の有無を確認してください。

#### 特に注意!

多年生雑草のクログワイ、ホタルイ、オモダカ等は難防除雑草と呼ばれ、前年発生したところでは多く発生することが予想されます。これらの雑草が出ている場合には体系的な防除をおすすめします!

クログワイ	カヤツリグサ科雑草	イヌホタルイ	カヤツリグサ科雑草	オモダカ	広葉雑草
地下茎および秋に作った黒褐色球状の塊茎で繁殖。全国で発生し、いったん侵入すると増殖力旺盛かつ塊茎の寿命が長く、防除が厄介なハライ属の多年草。		水田におけるオタルイ属の中では最も発生量が多い。水田では主に種子繁殖だが、越冬株が残って多年生化するため分類上は多年生。		全国で発生する多年草。前年秋に形成された種子および芽を持つ球状の塊茎で繁殖。幼植物は同属のウリカフに似るが、次第に矢尻状の葉が出て大型になるので区別できる。近年、SU抵抗性生物型が見つかっている。	

雑草が水面から顔を出した時には、防除が間に合わない場合があります。圃場をよく観察し、早め早めの防除を心がけましょう。

#### 農作物の鳥獣捕獲「カモ・カラス等」のお知らせ

名取市、岩沼市の猟友会によるカモ・カラス等の捕獲を実施致します。

**名取市** 5月18日(金)・5月23日(水)の2回(予定) [実施団体]名取市有害鳥獣対策協議会

**岩沼市** 5月18日(金)・5月23日(水)の2回(予定) [実施団体]岩沼市農作物有害鳥獣対策協議会

#### 《営農についてお困りの方はご連絡を!!》

営農についてお困りの方は個別訪問いたしますので、その際にご連絡願います。

〈連絡先〉 JA名取岩沼営農部(営農支援課) TEL 022-384-2158

